

主題名

いろいろな国の文化を知ろう

教材名

いろいろな国

人権学習の視点

個別的な視点「外国人の人権問題」


主題・教材について

近年、国際社会の「ボーダレス化」が進む中で、人やモノが国境を越えやすくなったと言われている。一方で、オリンピックやワールドカップなどの国際競技等において、国や地域を意識する機会も多い。本教材では、世界各国の国旗を手がかりに世界の国々に目を向けさせ、それぞれの国や地域の「あいさつ」を取り上げることで異文化への理解を深めたい。

ねらい

いろいろな国や地域のあいさつの仕方を知ることで、異文化への理解を深める。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導入	○「国旗クイズ」に答えて、世界にいろいろな国があることを理解させる。	一斉	○「国旗クイズ」に答えて、世界の国々に目を向ける。	○児童や学級の実態に応じて、インターネットや書籍を活用した調べ学習をさせる。	資料 「いろいろな国」 P4 P7	
展開	○本時のめあてを確認させる。	一斉	○本時のめあてを確認する。	○いろいろな国や地域の挨拶の違いがあることに着目させる。	資料 P5～P6 	
	<b>いろいろな国の「あいさつ」を知ろう</b>					
	○いろいろな国の挨拶の仕方を理解させ、練習させる。	一斉	○いろいろな国の挨拶の仕方を理解し、練習する。	○国や地域によって挨拶の仕方が違うことを理解させる。		
	○いろいろな国の「こんにちは」や「ありがとう」を練習させる。	一斉	○いろいろな国の「こんにちは」や「ありがとう」を練習する。	○言葉と挨拶の仕方を合わせて理解させるようにする。		
開	<b>友達といろいろな国の言葉であいさつしよう</b>					
	○いろいろな国の言葉を使って、友達と「こんにちは」「ありがとう」の挨拶をさせる。	一斉	○いろいろな国の言葉を使って、友達と「こんにちは」「ありがとう」の挨拶をする。	○練習した挨拶の仕方と言葉を組み合わせ、友達とあいさつをかわさせる。	ワークシート	
まとめ	○学習のまとめをする。	一斉	○本時の学習を振り返る。	○異文化を理解することの大切さを確認する。		

評価

いろいろな国や地域のあいさつの仕方を知ることで、異文化への理解を深めることができたか。



**国旗クイズの答え** | 1.①インド ②韓国 2.①フィリピン ②中国 3.①アメリカ合衆国 ②タイ  
4.①フランス ②ドイツ 5.①サウジアラビア ②ブラジル